

# Press Information

2006-10-30  
No.06-11

## 曙ブレーキ工業(株) 中間決算発表

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）は、本日、2006年度中間決算発表を実施いたしましたので、概要をお知らせいたします。

### 業績の概要

当中間連結会計期間の連結業績については、売上高は862億円（対前年同期比+219億円）となりました。また営業利益は61億円（対前年同期比+15億円）、経常利益は51億円（対前年同期比+4億円）、当期純利益は28億円（対前年同期比+7億円）となりました。

	FY'06中間期 実績	FY'05中間期 実績	対前年同期比
売上高	862億円	643億円	+219億円
営業利益	61億円	46億円	+15億円
経常利益	51億円	47億円	+4億円
当期純利益	28億円	21億円	+7億円
一株当たり（中間）当期純利益	26円30銭	21円21銭	+5円09銭
総資産	1,494億円	1,262億円	+232億円
純資産	467億円	350億円	+118億円
自己資本比率	28.2%	27.7%	+0.5%
一株当たり純資産	392円77銭	327円69銭	+65円08銭

### 地域別の状況

#### 日本

一部完成車メーカーの想定以上の不振や素材価格の高止まりによるマイナス影響等を受け、売上高：468億円（対前年同期比△33億円）、営業利益：37億円（対前年同期比△8億円）と対前年同期比で減収減益になりました。

#### 北米

連結子会社（アムブレーキコーポレーション）増加影響に加え、日系完成車メーカーの躍進及び大幅な減少を見込んでいたビッグ3からの受注増加等により売上高：342億円（対前年同期比+206億円）、営業利益：24億円（対前年同期比+22億円）と大幅な増収増益になりました。

#### 欧州他（欧州・中国・東南アジア）

連結子会社（ピーティール・トゥリ・ダールマ・ヴィセサ）増加影響に加え、着実なビジネスの拡大及び原価低減活動等により、売上高：52億円（対前年同期比+46億円）、営業利益：0億円（対前年同期比+2億円）になりました。

## キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて15億円減少し、36億円となりました。フリー・キャッシュ・フローは11億円のプラスになりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益50億円、減価償却費44億円、法人税等の支払額36億円等により、39億円の収入となりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出26億円、IT投資による無形固定資産の取得による支出10億円、投資有価証券の売却による収入9億円等により28億円の支出となりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出48億円、長期借入による収入74億円、短期借入金の返済による支出30億円、配当金の支払額6億円等により27億円の支出となりました。

## 通期(2007年3月期)の見通し

日本国内の景気は企業収益の改善、設備投資の増加などにより穏やかな景気回復基調が続くと期待される一方、昨年来より続く原材料・原油価格の高騰、また北米における自動車産業を主とした景気の不透明感等、不確定要素は依然として払拭されておりません。

このような状況下、当社グループは一丸となり業績の向上に全力を尽くしていく所存であり、通期の連結業績予想につきましては、売上高1,720億円、営業利益140億円、経常利益124億円、当期純利益は75億円を見込んでおります。

	FY'06 予想	FY'05 実績	対前年同期比
売上高	1,720億円	1,423億円	+297億円
営業利益	140億円	117億円	+23億円
経常利益	124億円	110億円	+14億円
当期純利益	75億円	59億円	+16億円